

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		住宅の取得・賃貸・管理・修繕が円滑に行われる住宅市場を整備する			評価方式	総合・実績事業	番号	1-2
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度概算要求額		
予算の状況	当初予算（千円）	5,501,300	5,938,145	9,634,542	10,678,583			
	補正予算（千円）	2,398,863	403,565,917	0	56,000,000			
	繰越し等（千円）	0	△ 1,099,999	224,599,999				
	計（千円）	7,900,163	408,404,063	234,234,541				
執行額（千円）		7,839,813	407,590,388	231,248,952				
達成すべき目標及び目標の達成度合いの測定方法		住宅ストックの質の向上を図る取組や、市場における適正な取引の実現に資する施策等を通じ、適切に維持管理された住宅ストックが円滑に流通する市場環境を整備する。これにより、良質な住宅ストックが将来世代へ承継されるとともに、国民が求める住宅を無理のない負担で安心して選択できる市場の実現を目指す。詳細は別添「標準様式」の通り。						
政策評価結果を受けて改善すべき点		政策評価結果を受けて、事業内容や実施方法等を見直すことにより支出の削減・抑制等を図ったものは特にない。						
政策評価結果の予算概算要求等への反映状況		関係する事務事業は目標達成に向け寄与しており、引き続き住生活基本計画(全国計画)等に基づき、住宅の取得・賃貸・管理・修繕が円滑に行われる住宅市場を整備するため予算要求等を行った。						

政策評価調書（個別票2）

【政策に含まれる事項の整理】

政策名		住宅の取得・賃貸・管理・修繕が円滑に行われる住宅市場を整備する				番号	1-2		(千円)	
		予 算 科 目				予 算 額		政策評価結果の反映による見直し額合計		
整理番号	会計	組織/勘定	項	事項	23年度 当初予算額	24年度 概算要求額				
対応表において●となっているもの	A	1	一般会計	国土交通本省	住宅市場整備推進費	住宅市場の環境整備の推進に必要な経費	10,647,577	8,220,229		
	A	2	一般会計	国土交通本省	東日本大震災復旧・復興住宅市場整備推進費	東日本大震災復旧・復興に係る住宅市場の環境整備の推進に必要な経費		135,600,000		
	A	3	一般会計	地方整備局	地方整備推進費	住宅市場の環境整備の推進に必要な経費	31,006	28,002		
	A	4								
	小計							10,678,583	143,848,231	
対応表において◆となっているもの	B	1								
	B	2								
	B	3								
	B	4								
	小計							の内数	の内数	
対応表において○となっているもの	C	1					<	>	<	>
	C	2					<	>	<	>
	C	3					<	>	<	>
	C	4					<	>	<	>
	小計							の内数	の内数	
対応表において◇となっているもの	D	1					<	>	<	>
	D	2					<	>	<	>
	D	3					<	>	<	>
	D	4					<	>	<	>
	小計							の内数	の内数	
合計							10,678,583	143,848,231		
							の内数	の内数		

政策評価調書（個別票3）

【見直しの内訳・具体的な反映内容】

政策名	住宅の取得・賃貸・管理・修繕が円滑に行われる住宅市場を整備する				番号	1-2	(千円)
事務事業名	整理番号		予算額			政策評価結果の反映による見直し額(削減額)	政策評価結果の概算要求への反映内容
該当なし			23年度 当初 予算額	24年度 概算要求額	増減		
合計							

施策目標個票

(国土交通省22-②)

施策目標	住宅の取得・賃貸・管理・修繕が円滑に行われる住宅市場を整備する	
施策目標の概要及び達成すべき目標	住宅ストックの質の向上を図る取組や、市場における適正な取引の実現に資する施策等を通じ、適切に維持管理された住宅ストックが円滑に流通する市場環境を整備する。これにより、良質な住宅ストックが将来世代へ承継されるとともに、国民が求める住宅を無理のない負担で安心して選択できる市場の実現を目指す。	
施策目標の評価、達成状況及び今後の方向性	施策目標の評価	「おおむね順調である」
	施策目標の達成状況及び今後の方向性	適切に維持管理された住宅ストックが円滑に流通する市場環境の実現に向けた取組を行い、それらの効果は着実に発揮され、平成20年度の実績値については、リフォーム実施戸数の住宅ストックに対する割合などの業績指標は順調に推移しているが、既存住宅の流通シェアなど一部指標では目標達成に向けたトレンドを下回るものもある。 平成23年度においては、中古・リフォーム市場整備のためのトータルプランを策定し、実施するとともに、環境・ストック活用推進事業を創設し、住宅の長寿命化を推進するなど、今後とも、目標値の達成に向けて、新たな施策や、既存の取組の拡充などを適宜検討しつつ、住宅の市場環境整備を推進する。

業績指標	区分	初期値	実績値					評価	目標値
		15年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		22年度
3-① 住宅の利活用期間(①) 減失住宅の平均築後年数	初期値								
	15年度	約30年	—	—	約27年	—	—	B-1	目標値 22年度 約35年
	年度ごとの目標値		—	—	—	—	約35年		
3-② 住宅の利活用期間(②) 住宅の減失率	初期値								
	15年度	約8.0%	—	—	約6.9%	—	—	A-1	目標値 22年度 約7.5%
	年度ごとの目標値		—	—	—	—	約7.5%		
4 リフォーム実施戸数の住宅 ストック戸数に対する割合	初期値								
	15年度	2.4%	—	—	3.5%	—	—	A-1	目標値 22年度 3.9%
	年度ごとの目標値		—	—	—	—	3.9%		
5 既存住宅の流通シェア	初期値								
	15年度	13.1%	11.5%	12.4%	13.5%	—	—	B-1	目標値 22年度 19.0%
	年度ごとの目標値		—	—	—	—	19.0%		
6 25年以上の長期修繕計画 に基づく修繕積立金額を設定 している管理組合の割合	初期値								
	15年度	20%	—	—	37%	—	—	A-2	目標値 22年度 38%
	年度ごとの目標値		—	—	—	—	—		
7 新築住宅における住宅性能 表示の実施率	初期値								
	15年度	11.7%	19.9%	21.0%	19.3%	19.1%	23.6%	B-1	目標 22年度 50%
	年度ごとの目標値		—	—	—	—	—		

施策の予算額・執行額等 【参考】	区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求額
		当初予算(a)	5,501	5,938	9,635	10,679
予算の 状況 (百万円)	補正予算(b) <small>(23年度は1次補正まで記載)</small>	2,399	403,566	0	56,000	
	前年度繰越等(c) <small>(23年度への繰越は未記載)</small>	0	0	224,600	0	
	合計(a+b+c)	7,900	409,504	234,235	66,679	
	執行額(百万円)	7,840	407,590			
	翌年度繰越額(百万円)	0	1,100			
	不用額(百万円)	60	814			

学識経験を有する者の知見の活用 国土交通省政策評価会を開催(平成23年7月7日)
【意見等】

担当部局名	住宅局	作成責任者名	住宅政策課 (課長 首藤 祐司)	政策評価実施時期	平成23年9月
-------	-----	--------	---------------------	----------	---------